

L-73

# 後月郡誌

私立後月郡教育會編纂

發行所

五竹園書店



總目録

第一編 自然地理		第一章	地貌	一
		第二章	水誌	二
		第三章	氣候	四
		第四章	天産物	五
第二編 人文地理		第一章	政治	五
		第二章	宗教及社寺	十
		第三章	都邑	十一
		第四章	交通	十二
		第五章	名勝	十六
		第六章	舊跡	十七
		第七章	生業及産物	十八
		第八章	沿革	十九
		第九章	風俗	廿二

後月郡誌

後月郡ハ岡山縣ノ西南部ニ位シ、東方ヨリ南方ハ小田郡ニ界シ、西方ハ備後國深安郡ニ隣リ、北方ハ川上郡及ビ備後國神石郡ニ接ス。東西四里許、南北五里半、周圍十九里餘、面積十方里餘アリ。

政治ハ之便ヲ以テ、本郡ヲ分チテ、井原町、高屋、出部、縣主、子、荏原、西江原、山野上、青野、芳井、明治、共和、三原ノ一町トス。

第一編 自然地理

第一章 地貌

東南ハ低キ山脈並立シ、西北ヨリ北ニ繞リ山岳相連ル、小田川ハ郡ノ中央ヲ貫流シ、此流域ハ土地一般ニ平坦ナリ。

明治  
4 18  
内交

地質

北部地方ハ、大抵水成岩層ニシテ、砂土又ハ埴土ナリ、南部地方ハ花崗岩層ニシテ砂土ナリ、山陽國道ニ沿ヘル地方、小田川沿岸ハ、大抵沖積的ノ土地ニシテ、砂質ノ壤土ナリ。

地味

山陽國道ニ沿ヘル一帯ノ地方ハ、大概肥沃ニテ、五穀蔬菜ノ栽培ニ適シ、山僻ノ地方ハ大概瘠簿ナレトモ、耕耘ニハ困難ナラズ。

山嶽

本郡ハ、土地一般ニ平坦ニシテ高山ナシ、諸山脈ヲ總括スレバ四山脈トナル、即チ北部ニ連亘スルモノヲ彌高山脈トナシ、中央部ニアルモノヲ經ガ丸山脈トナシ、南部ニアルモノヲ高月山脈ト蛸村山脈トナス、彌高山脈中著名ナルモノヲ高越山トス。

第一章

水誌

川流

小田川ハ、郡内第一ノ大川ニシテ、其源ヲ廣島縣深安郡山野村ヨリ發シ、本郡芳井村ニ入り、郡内諸村ヲ經テ、鳴川、宇戸川、雄神川、神

瀑布

戸川、稻木川等ノ小川ヲ合シテ東流シ、小田郡ヲ經テ、吉備郡川邊村ニ至リテ高梁川ニ入ル、其本郡ヲ流ル、コト四里二十八町餘、廣キ所ハ五十間、狹キ所ハ四十間アリ、此川ハ川底石砂ニシテ流レ急ナレバ、水清ケレトモ舟ヲ通スヘカラズ、鮎、鯉、鰻等ノ魚類ヲ産シ、水ハ溝渠ニ引キテ田畑ニ灌グ。

溝渠堰

高屋川ハ、其源ヲ廣島縣備後國深安郡三谷村ヨリ發シ、本郡高屋村ヲ貫流シテ小田郡大江村ニ入ル。  
本郡ハ山岳多キヲ以テ、瀑布從ツテ多ク、其著名ナルモノヲ鳴瀑、西瀑、東瀑、龍頭瀑等トス。  
本郡南部地方ニハ、溝渠、堰多ク其重ナルモノハ、出部村ニ在リテハ井原町ヨリ來ル堰溝、出水場ヨリ引ケル溝渠等トシ、縣主村ニ在リテハ蛭田川、大堤溝等トシ、木之子村ニ在リテハ蛭田川堰溝等トシ、荏原村ニ

## 沼池

在リテハ谷川堰溝、下谷川等トシ、西江原村ニ在リテハ御門川トシ、明治村ニ在リテハ鳴瀧川トシ、青野村ニ在リテハ猿淵川、金屎溝等トナシ井原町ニアリテハ堰溝トシ、芳井村ニ在リテハ飯名、築瀬、後堰溝、谷川高川原ノ堰溝及ビ追崎川等トシ、明治村ニ在リテハ横尾谷川トス。

本郡ハ、山谷ノ水ヲ堰キテ、池トスルモノ甚タ多ク、其重ナルモノヲ舉クレバ、木之子沼、西江原村ニテハ明治池、大池、十藏池、高屋村ニ在リテハ信池、宮ヶ谷池、出部村ニ在リテハ九沓池、花野池、出雲池、縣主村ニ在リテハ前池、地面池、宮ノ前池、木之子村ニ在リテハ小淀池、蛭田西池、圓地池、荏原村ニ在リテハ末國池、山野上村ニ在リテハ大鳴池、青野村ニ在リテハ香蓮池、芳井村ニ在リテハ神多池等ナリ。

出部村大字笹賀ニ、一ノ冷泉アリ、鯉ノ川ト云フ。

## 第三章 氣候

## 泉

本郡ハ、氣候概テ溫和ニシテ、寒暑共ニ烈シカラズ、風ハ、夏季ハ東南風多ク、冬ハ西北風多シ、一ケ年平均温度ハ六十四度強ニシテ、最高最低温度ノ差ハ五十九度ニ過ギズ。

## 第四章 天産物

小田川ノ鮎、明治村ノ松茸ハ、多量ニ産シ、芳井村ノ粟及ビ竹モ亦有名ナリ、青野村、三原村ヨリハ銅鑛ヲ出シ、荏原村ヨリハ花崗石ヲ産ス。

## 第二編 人文地理

## 第一章 政治

## 行政

郡役所ハ、井原町ニ在リテ、本郡ノ行政ヲ統へ、郡會議員十五人アリテ政務ニ參與ス、各町村ニハ役場ヲ置キ、町村會議員、其町村ノ行政事務ニ干與ス。

戸數

本郡ノ戸數ハ七千五十四ニシテ、人口三万八千十六アリ、之ヲ町村別ニ示サバ左ノ如シ

町村名	戸數	人口
高屋	六二〇	三、三九九
出部	五五四	二、八三三
縣主	三四八	一、七〇六
木之子	三七〇	一、九五七
荏原	五四七	三、一九八
西江原	六八一	三、四一八
山野上	二六二	一、四一〇
青野	三二一	一、七三六
井原	九八九	四、七五三

財政

芳井	一〇六八	六、一一三
明治	五七五	三、四五二
共和	四九〇	二、七二一
三原	二二九	一、三二〇

本郡ノ國稅ハ、五万四千六百二十三圓餘ニシテ、コレヲ人口ニ配當スレバ、一人ニ付、壹圓三十八錢五厘強ニ當リ、縣稅ハ、二万四千八百圓餘ニシテ、人口一人ニ付、六十二錢九厘強、町村稅ハ、三万七十圓餘ニシテ、人口一人ニ付、七十六錢二厘強ノ割合ニ當レリ。

本郡ニ於テ、議員ノ選舉權、又ハ被選舉權ヲ有スル人員、左ノ如シ

郡會議員	二、二五七	一、六六八
縣會議員	二、三六一	九三五
選舉權ヲ有スルモノ		被選舉權ヲ有スルモノ

所得稅ヲ納ムル人員四百十五ニシテ、其所得金額ハ、十九万二千四百五十四圓ナリ。

收稅

本郡ノ收稅事務ハ、笠岡收稅署ノ管掌ニ屬ス。

裁判所

笠岡區裁判所出張所ハ、西江原村ニアリテ、專ラ登記事務ヲ取扱フ。

警察

警察ハ井原町ニ在リテ、井原警察署ト稱ス、又各町村ニ巡查駐在所アリ

兵事

本郡ノ壯丁ニシテ、兵役ノ義務ヲ有スルモノ、六千三百四十八人ニシテ、軍籍ニ在ルモノ、千百五十一人アリ、其内海軍ノ兵籍ニ在ルモノ四十四人ナリ。

衛生

本郡ハ、惡疫ノ流行スルコト稀ナレドモ、傳染病患者ヲ處理スルタメ、各町村ニ避病舎ノ設アリ。

醫師二十人アリテ、治療ノ業ニ從ヒ、其他ニ藥劑師二人アリ、又岡山

教育

縣地方衛生會支部アリテ、衛生法ノ普及ヲ圖リ、博愛會アリテ治療法ノ研究、及ビ貧困重病者ノ治療ヲ行ヘリ。

本郡學齡兒童ノ數ハ、男三千百七十八人、女二千七百五十八人ニシテ、其中就學兒童數ハ、男二千七十七人、女二千六百九十七人ナリ。

小學校ハ尋常校十五、高等校二、尋常高等併置校八ニシテ、之ニ就學セル兒童數高等科千四百五十二人、尋常科三千百六十三人アリ。

其他各町村トモ、實業補習學校ヲ設ケテ、青年子女ノ補習教育ニ備フ。

井原町ニハ、町立井原女學校アリ、明治三十六年ノ創設ニシテ、高等小學校卒業ノ女子ヲ收容シ、須要ナル普通教育ヲ施セリ。

西江原村ニ私立興讓館アリ、嘉永六年ノ創設ニシテ、坂谷朗廬茲ニ帷ヲ垂レ、諸藩ノ子弟入學スルモノ多ク、明治維新ノ後、坂田警軒紹ギテ教授ニ當リシガ、名士輩出シテ、館名俄ニ揚ルニ至レリ、坂田氏去リ

テ後ハ、一時門ヲ閉ヂシガ、近時地方ノ有志者相謀リテ再興シ、學科課程ヲ改メ、中學校ノ程度ニ依リテ、普通教育ヲ施セリ。私立後月郡教育會ハ、本郡教育ノ普及上進ヲ圖レリ。

### 第二章 宗教及ビ社寺

本郡ニ行ハル、宗教ハ、神道、佛教及ビ耶蘇教ニシテ、佛教信者最モ多數ナリ。

神道及ビ神社

神道ニ數派アリ、各教導職ヲ置キテ、布教ヲ圖レリ、郡中神社ノ數ハ、郷社一ニシテ村社四十三アリ、郷社ハ井原町ニ在リテ、足次山神社ト稱ス、出部村社武速神社ハ、郡中ノ名社ニシテ、參拜者多シ。

佛教及ビ寺院

佛教ノ最盛ナルハ、眞言宗ニシテ、之ニ次グモノヲ眞宗トス、郡内寺院ノ數ハ、六十八ニシテ、高屋村ノ高山寺、出部村ノ金敷寺、縣主村ノ金剛福寺、木之村ノ淨見寺、荏原村ノ佛眼寺、西江原村ノ永祥寺、法泉寺、

耶蘇教

山野上村ノ千手院、青野村ノ正覺院、井原町ノ善福寺、芳井村ノ重立寺、共和村ノ清和寺、三原村ノ西光寺等ハ有名ナル寺院ナリ。耶蘇教ハ、高屋村ニ講義所アリテ、布教ヲ圖レリ。

### 第三章 都 邑

郡中ニ於テ、市街ノ形ヲナセルモノヲ舉クレバ。

井原町

井原ハ縣道ニ沿ヒ、戸數凡一千アリ、現今郡衙及警察署ノ所在地タリ、郡内及ビ、北ハ川上郡、西ハ備後國深安郡神石二郡ニ、出入スル貨物ハ、概テ此地ニ集散ス、井原郵便局、中備製糸會社、井原織物所、井原銀行、劇場、高粱葉煙草收納所井原出張所、岡山煙草製造所井原分工場等アリ。

高 屋

高屋ハ國道ニ沿ヒ、郡中西部ノ商業地ニシテ、市街繁盛ナリ、此地ニ郵便局アリ。

新町及ビ  
今市

西江原村字新町及ビ今市ハ、連續シテ國道ニ沿ヒ、東西凡一里ノ間人家櫛比シ、郡中東部ノ商業地タリ、新町ニハ西江原銀行、及ビ郵便局、笠岡區裁判所出張所アリ。

七日市

出部村字七日市ハ、舊西國街道ノ一驛ニシテ、山陽街道ト出雲往來トノ衝ニ當レル地ナリ。

佐原

芳井村大字吉井字佐原ハ、出雲往來ニ沿ヒ、郡中北部ノ貨物、概テ此地ニ集散シ、商業ノ活氣井原ニ亞ゲリ。

與井

芳井村大字與井ハ、佐原ノ南ニ接シタル市街ニシテ、郵便局及ビ後月銀行アリ。

第四章 交通

交通機關ノ重ナルモノヲ舉タレバ。

一、國道

山陽街道 東方小田郡小田村ヨリ本郡ニ入り、荏原、西江原、出部、高屋ノ諸村ヲ經テ、西方備後國深安郡御野村ニ至ル、里程二里二十六町余、全道平坦ニシテ、中央ニ日芳橋アリ。

二、縣道

出雲街道 南方小田郡稻倉村境ヨリ、本郡出部村ニ入り、山陽街道ヲ横斷シテ、井原町及芳井、共和、三原ノ諸村ヲ經、西北川上郡高山村境ニ至ル、里程六里二十三町余、車馬絡驛行人織ルガ如シ。

三、里道

イ、笠岡往來 備後國深安郡三谷村ヨリ、本郡高屋村ニ入り、國道ヲ横斷シテ、小田郡大江村境ニ至ル。  
ロ、井原往來 出部村大字笹賀ニ於テ、國道ヨリ分レテ井原町ニ至ル。  
ハ、福山往來 荏原村ニ於テ國道ヨリ分レ、木之子、縣主ノ二村ヲ經テ、

道路



小田郡稻倉村境ニ至ル。

ニ、笠岡往來 小田郡稻倉村境ヨリ、本郡縣主村大字西方ニ入り、再ヒ小田郡稻倉村境ニ至ル。

ホ、成羽往來 小田郡大江村境ヨリ、縣主、木之子ノ二村ヲ經テ、西江原村ニ至リ、國道ヲ横ギリ、山野上村ヲ經テ、小田郡堺村境ニ至ル。  
ヘ、玉嶋往來 荏原村ニ於テ國道ヨリ分レ、木之子村ヲ經テ、小田郡北川村境ニ至ル。

ト、井原往來 西江原村ニ於テ、國道ヨリ分レ、井原町ニ至ル。

チ、八日市往來 西江原村ニ於テ、國道ニ起リ、山野上村ヲ經テ、小田郡堺村境ニ至ル。

リ、八日市往來 井原町縣道ニ起リ、青野、山野上、明治ノ諸村ヲ經テ、小田郡堺村境ニ至ル。

ヌ、成羽往來 芳井村大字吉井縣道ヨリ起リ、芳井、明治ノ二村ヲ經テ、川上郡大賀村境ニ至ル。

ル、八日市往來 明治村大字種ヨリ、川上郡日里村境ニ至ル。

オ、福山往來 芳井村大字吉井縣道ヨリ起リ、高屋村ヲ經テ、備後國深安郡三谷村ニ至ル。

カ、井原往來 備後國深安郡山野村境ヨリ起リ、本郡芳井村大字川相ニテ縣道ニ合ス。

キ、福山往來 共和村大字下鳴縣道ヨリ起リ、備後國深安郡山野村境ニ至ル。

ク、井原往來 三原村大字西三原ヨリ起リ、大字東三原ニ至リ縣道ニ合ス。

コレヲノ道路ニ往來スル車輛ハ、人力車九十七、荷車千二百十八ナリ。

郵便

本郡ノ郵便ハ、神戸郵便電信局ノ管轄區域ニ屬シ、井原、高屋、西江原、芳井、三原ニ三等郵便局アリ。

電信

電信線ハ、井原郵便局ヲ發シテ、小田郡笠岡郵便局ニ達スルモノト、小田郡小田郵便局ニ達スルモノトノ二線アリ。

電話

電話線ハ、井原警察署ヲ發シテ、小田郡矢掛警察署ニ達スル一線アリ、專ラ官衙用トシテ設ケラレタルモノナリ。

第五章 名勝

郡内名勝トシテ、著名ナル處ハ、出部村ニアリテハ、鯉の川、木之子村ニアリテハ、木々の里、高月山、鳴尾の淵、西江原村ニアリテハ、日芳橋、永祥寺、山野上村ニアリテハ、浪形石、千手院、井原町ニアリテハ、倉垣の里、不言溪、長川、明治村ニアリテハ、鳴瀧、芳井村ニアリテハ、天神溪、川相、共和村ニアリテハ、蛇の穴等トス。

第六章 舊跡

驛及屯倉

上古本郡中ニ置カレタル、宿驛及屯倉ヲ舉クレバ、後月驛、七日市驛、後月屯倉、來履屯倉、膽年部屯倉、河音屯倉、多瀬屯倉等トス。

古城跡

古城跡ノ著名ナルモノヲ舉クレバ、高屋村ニテハ、高屋山城、高屋城、出部村ニテハ、木戸荒神山城、古城、木之子村ニテハ、才崎の城、三輪崎城、荏原村ニテハ、泉山城、高越山城、西江原村ニテハ、小管城、中堀城、青蔭城、井原町ニテハ、横手山城、芳井村ニテハ、雄瀨山城、能多ヶ丸城、宇戸川古城、正靈山城、中山城、共和村ニテハ、井戸橋城、市場の城、高原城等ナリ。

古館跡

郡内藩主代官ノ館跡、陣屋ノ重ナルモノハ、西江原村ニテハ、江原陣屋井原町ニテハ、井原陣屋等ナリ。

古墳

郡内古墳トシテ著名ナルモノハ、縣主ニアリテ、鎮西爲忠ノ墳トス。

第七章 生業及産物

本郡ノ生業ハ、農工商共ニ行ハルト雖モ、農業ハ其大部ヲ占メ、商業之  
二次キ、工業最モ少ナシ。

農業

農業ニ従事スル人民ノ數ハ、全郡人口ノ四分ノ三強ニシテ、田畑ノ面積  
ハ、全郡面積ノ三分ノ一弱ニ當リ、田畑ノ反別ハ、田一五二九、五〇畝二  
七步畑二〇二二、八三畝一一步ナリ、而シテ地味肥沃ニシテ、灌漑ニ便、  
從ツテ農産物豊饒ナリ、其重ナルモノハ、米、麥、大豆、小豆、粟、黍、  
蕎麥、甘藷、葉藍、葉煙草、繭、繭等ニシテ、近來果實ノ栽培モ、亦大  
ニ開ケ、桃、梨、柑橘等ノ産出少ナカラス。  
牧畜業モ漸ク盛ニナリ、三原産ノ牛ハ、高山牛ト稱シ、京阪地方ニ輸  
送ス。

産物

工業

工業モ近來漸ク盛ントナリ、井原町ヲ中心トシテ、各村ニ於テ、種々ノ

製造品ヲ産スルニ至ル、而シテ其重ナルモノハ、麥稈及經木眞田、製糸、  
織物、製茶、疊表、蓆、陶器類、製紙、辨柄、薄荷油、製藍、麵類、刻煙草、  
足袋、酒、醬油、薪、炭、石灰等ナリ。

商業

商業ノ盛ナル地方ハ、井原町、高屋村、芳井村等トス。

鑛業

鑛業トシテハ、盛ナリト云フヲ得サレトモ、青野村、三原村等ヨリハ銅  
ヲ産出ス。

林業

郡内山脈多ク、從ツテ山林ニ富ミ、檜、杉、松、樟、栗、榎、竹等ヲ産ス。

漁獵業

漁業獵業ハ微々タリ。

第八章 沿革

本郡ハ、古代各地方、其管轄ヲ異ニシ、統一ヲ缺キシモ、明治元年、本郡  
一圓淺野少將ノ鎮撫ニ屬シ、同年正月、幕府ノ所領地ヲ收メ、六月倉敷  
縣ヲ置カル、ニ當リ、本郡舊幕府所領皆之ニ屬ス、八月之ヲ一橋藩ト稱

ス、同三年六月、郡内悉ク倉敷縣管轄ニ属シ、同四年正月、本郡内ニ於ケル各寺院ノ除地ハ、境内ヲ除クノ他、之ヲ上地シ、十月深津縣ヲ置カレ、全郡其管轄ニ属ス、同五年六月、小田縣ト改稱シ、本郡ハ其管轄ノ第八大區トナレリ。

明治七年十二月、下鳴、上鳴、山村ノ三村ヲ合併シ、山鳴村ト改稱シ、同八年六月、寺戸村ヲ西江原村ニ合併シ、十月七日市村ヲ上出部村ニ合併シ、同九年七月、種村ト片塚、花瀧二村ノ一部ヲ合併シテ、種村ト稱シ、花瀧、種村ノ一部ト、名越村トヲ合併シテ、花瀧村ト稱ス、同二十年四月、郡内各村ノ境界ヲ更正シ、同廿一年二月、山鳴村再ビ分離シテ、山村、下鳴村、上鳴村トナル、同廿二年、町村制實施ニ付キ、新村ヲ構成スルコト左ノ如シ。

高屋村 舊域

出部村 笹賀、上出部、下出部三村合併

縣主村 西方、門田二村合併

木之子村 舊域

西江原村 舊域

山野上村 舊域

青野村 北山、青野、稗原三村合併

井原村 舊域

芳水村 梶江、與井、築瀨、宇戸川四村合併

明治村 佐屋、種、花瀧、井山、片塚、池谷六ヶ村合併

足次村 吉井、川相、天神山三村合併

三原村 東三原、西三原二村合併

東江原  
神代組合

山村下鴨  
上鴨 組合

明治二十九年二月、井原村ヲ井原町ト改稱シ、同三十三年四月、東江原  
神代組合ヲ解キ、更ニ荏原村ト稱シ、上鴨、下鴨、山村三村ノ組合ヲ解  
キ、更ニ共和村ト稱ス、同三十八年四月、芳水、足次ノ二村ヲ合併シテ、  
芳井村ト改稱ス。

郡政  
明治七年七月、行政區劃ヲ定メ、一郡ヲ一大區トシ、一個ノ會議所ヲ置  
カレ、本郡ハ小田縣ノ第八大區ニ屬シ、井原村ニ會議所ヲ置カル、同十  
年十一月、一郡一ヶ所ノ區務所ヲ置カレ、同十一年九月、區務所ヲ廢シ、  
郡役所ヲ置カレ、同十六年十二月、廳舎ヲ西江原村字西新町ニ増築シテ  
移轉シ、同二十三年四月、井原町常樂寺ニ移轉シ、同二十五年十一月、現  
今ノ廳舎ヲ新築シテ、之ニ移轉ス。

第九章 風俗

本郡ハ舊幕政時代、所領區々ニシテ政令一ナラス、隨テ民情一致ヲ缺  
キシガ、置縣以來、漸々和協統一ニ向ヘリ、而シテ風俗一般ニ淳朴ニ  
シテ、人情敦厚ヲ致シ、能ク業務ニ勉ム。

明治卅九年三月三十日印刷  
明治卅九年四月二十日發行

著者 私立後月郡教育會

岡山縣後月郡井原町千四十一番地

發行者 萩田元治郎

岡山縣後月郡井原町千四百九十四番地

印刷者 川上眞平

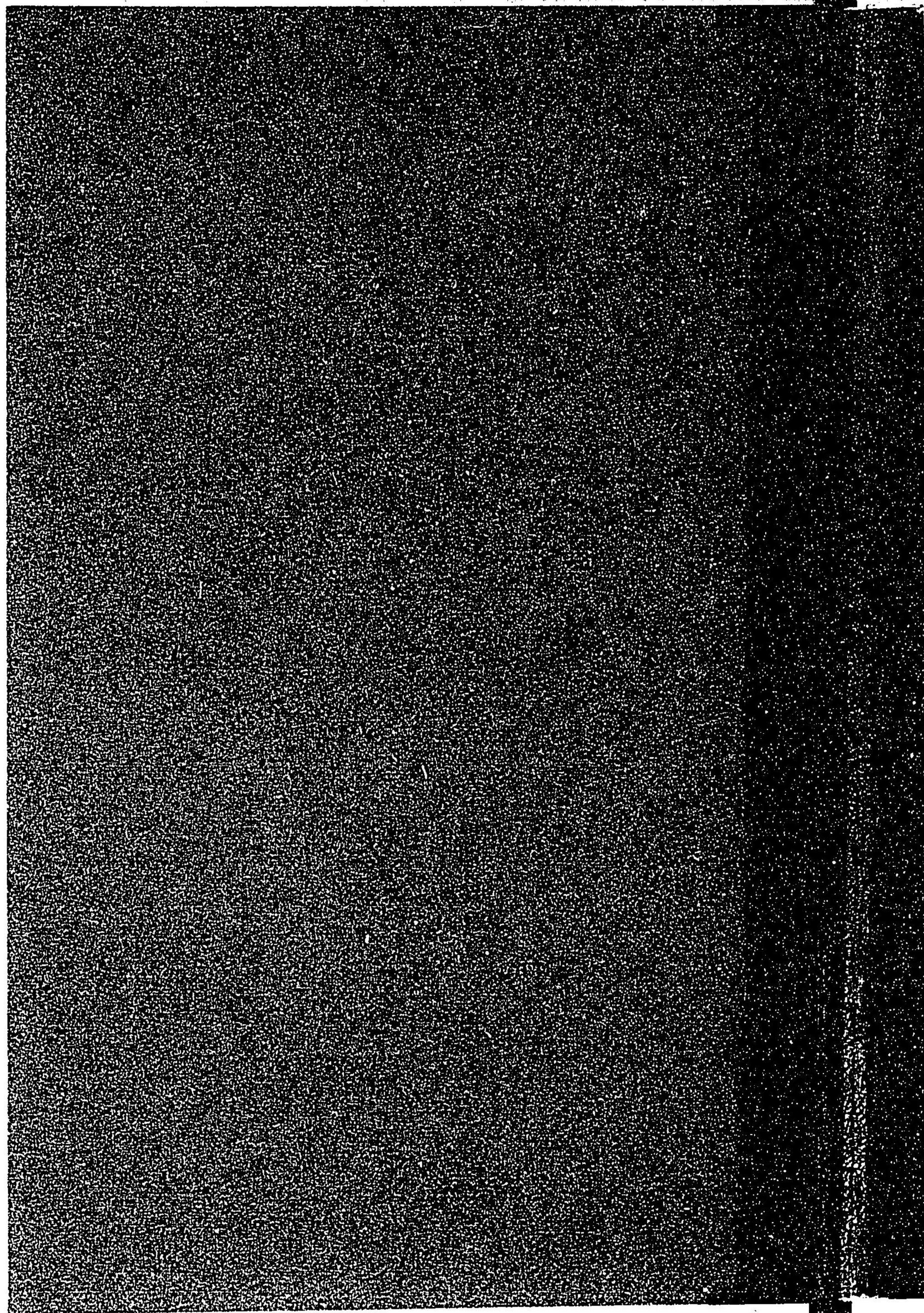
岡山縣後月郡井原町千八十八番地

印刷所 柳本活版所

發賣所 岡山縣備中井原町中町  
五竹園書店

不許  
複製

28-7





3  
0

後月郡誌

私立後月郡教育會

国立国会図書館

025872-000-2

特48-496

後月郡誌

私立後月郡教育会/編

M39

ADC-3425



特

4